

はじめに

カミサンに送られてくる、阪急交通社の旅行案内は膨大です。この中から気に入った旅を探し出すと言ってもなかなか難しいのです。結論から言えば、偶然、思い付き、幸運の類で、ピックアップにさしたる理由はありません。

「3つのハイアットに泊まる煌きの上海・蘇州・無錫4日間」を見つけました。価格は3.99万円～9.99万円です。中国大躍進の象徴の一つ、あの浦東（プートン）高層ビル街、ハイアットの中でも高級と言われるグランド・ハイアットに泊まれるというわけです。我々の日程の合う11月10日出発は¥42,900 最終日は何と「上海蟹」ディナーと来れば安価です。即断即決6月中旬に申し込みを済ませたのです。

11月10日（金）上海到着

朝7時セントレア集合はチョット厳しいので、Web予約なら駐車場10日間無料という東横インに前泊しました。したがって余裕の出発と



思ったけれど、結局は5時起き、朝は早かったのです。

JL883便は9:00出発、機体はB737-800中型ジェット機です。セントレアでの顔合わせは無かったけれど、前後にはそれらしき旅人も散見されます。

とんでもなく広い上海浦東国際空港へは現地時間11時半(時差1時間)到着です。

何と！タラップからの降機とは驚きました。数えきれないほどのゲートがあるの



に、足りないということです。13年前、2004年にこの浦東飛行場から日本に戻ったことがあります。ホントだっ広い飛行場で、こんなにゲートが必要か？と思っていたのに！変わったものです。この旅を選んだもう一つの理由が躍進中国の10年を確認したかったのです。飛行場でまず実感です。



この人、現地ガイドの王サンです。このツアー名古屋出発で総勢35人、上海で顔合わせです。黒スー

ツ、黒帽子、黄色ネクタイ ほとんどギャングのスタイルです。最初ドキリとしましたが、有能なガイドで、商売も上手でした。留学生として日本で苦勞して勉強、その後、事業主をなつて今の¥100ショップを数年間経営、合計で12年間を日本で過ごしたそうです。それにしても35人は大変です。このバスですべての行程を巡りました。運転手の紹介はありま



せんでしたが、王サンはいろいろほめていました。道路事情もあるのでしょうか、頻繁なクラクション、段差越え衝撃、急ブレーキはチョット粗っぽい運転でしたね。

上海から無錫へ

中国大陸は広いので、上海・無錫・蘇州は隣町の感じですが上海—無錫は150kmと、意外に遠いのです。ほとんどが高速道路ですが、渋滞も多

くありました。中国大躍進に、なくてはならぬインフラの整備

です。写真は高速道路から見た鉄道（新幹線か？）、

高圧電線群です。

通信インフラは無線電話網が主流のようです。

高層住宅が上海から無錫までほとん

ど途切れなく並んでいます。写真の住宅は建物の

真ん中に風抜き穴

がありました。耐風なのか風水なのか分かりませんが、風穴付きの高層マンションは珍しかったのです。



SAでみた車載トレーラです。6台縦列ですから30m位あるのでしょう。中国のトラック幅は日本と同じくらいですが長いですね！

無錫旅情

錫の産地だったのに、錫が採れなくなって「無錫」と言う地名になったそうで、何か変な話です。緒方大作の「無錫旅情」歌の通り「運河の街」でした。

無錫へ着いた時はすっかり暗くなり、長公溪公園と南禅寺步行街散策は省略、夕食で

す。スペアリブが主菜でした。回転テーブルの中国式で、最初は「おつまみ」小皿が2つ3つ並んでい

て、着席すると次々に料理が運ばれてきます。主菜は最終に近いところで出てきます。

お酒の注文は王サンが仕切ってくれます。今夜は紹興酒を注文しました。迂闊で

した。ビールが30元（¥500）なので、紹興酒も

グラスでその程度、と思っていたら、何とボトルで出

てきました。130元（¥2,300）は予算オーバーです。生姜を付加して貰って美味しかったのですが、700mlは当方のアルコール容量でもオーバー、皆さんに助けられて空にしました。要注意です。

空にしました。要注意です。

オプション観光は夜の運河



食事の後は運河観光です。

220元（¥4,000）で50分程運河

の夜景と陶器

の博物館を楽しみました。運河の両岸は殆ど飲食店で提灯やLEDのイルミネーション

ンを灯しそれなりの情緒はあります。でも、
チョット高いね！

例えば、ボストンでの水陸両用車を使った2
時間のダックツアーは\$27(¥3,240)でし
た。上陸後 ちょっとだけ南禅寺の夜景を

楽しんで、無
錫ハイアッ
ト・リージェ
ンシーです。



リージェンシーとは？辞書を引くと「摂政」
とあります。「摂政」とは天皇に代わって国
を仕切る人、プレジデント(元首・大統領)
宰相(政治執行者)に比較して、どうなのか、
なんとなく高貴な印象があります。

夜景、も朝景
も素敵でし
たし、朝食も
美味しかつ



たけれど、ベッドが気に入りました、サイズ
もゆったり、寝心地も最高でした。

11月11日(土) AMIは病院でした

朝起きると、カミサンは「足が痛い！」ほ
とんど歩けない状態でした。昨日、高速道路
サービスエリアで段差につまずいて転んだ
際に痛めた足首が悪化したのです。悩んだ
末、病院診察を受けることにしました。

フロントに王サンへ連絡を付けてもらい
(ホテルが違う)、急遽の相談で、サポート
ガイド(車と通訳)をお願いして診療に向か
い、目途の付いた所で合流することにしま
した。

駆けつけてくれたサポートガイドは祝サ
ン、日産テアラに乗ってきました。

無錫市第二人民病院へ連れていかれました。



駐車場を何とか探し
て、いよいよ診察で
す。待ち時間が長い
のは日本とおなじで

す。診察室の入り口に
ディスプレイがあって、
医師の名前と顔、診察
室の状態が出ています。担当医師は杜サン
若くてハンサムです。



まず診察、「問題なさそうだがレントゲン
を撮ろう」と言うことでx線写真、これを持っ
て再度診察です。x線写真の出来上がり2
時間待ちの予想、ガイドの祝サンが病院の
知り合いに働きかけて30分程で仕上が
りました。写真診断で「骨折無し！」湿布と安



静で問題ないこ
ととなりました。
これはロビーの
自動受付機です。
雰囲気は日本の

病院と同じです。

勘定は

診察料 12元(¥216)

x線写真 102.6元(¥1,846)

膏薬2箱 63.98元(¥1,151)

合計178.58元(¥3,214) 保険無しです。

サポートガイドの料金は 日本円
¥10,000 でした。祝サンは遠慮しまし
たが心付けを若干お渡ししました。

昼前にはすべて終わり、真珠店での美顔
クリームの説明販売に間に合ったのは良
かったのか悪かったのか？

蘇州観光

午前中はカミサンの病院付き添いで観光は無し、昼食は無錫料理です。



無錫の料理屋とテーブルです。「あと8個しかない薬膳スープ」20元を味わいながら、ビールで無錫料理です。特徴は良く解りませんでしたが、川海老の皿がありました。蘇州では個人の邸宅、世界遺産「ぐう園」見学の後、中国のピザの斜塔（虎丘）、をのぞき見、蘇州運河のオプション遊覧でした。

当方はオプション申し込みをしていないし、カミサンは大事を取ってバスで待



機、私は運河の岸辺でしばらく散歩を楽しみました。

夕食は蘇州料理です。珍しく手を付ける前に写真



が撮れました。蘇州料理と言っても何が何だか分かりませんが、10人で10皿程度が出ています。やはり全部は食べきれないのです。

テーブルに着くが早いか、料理がどんどん並びます。昔、会社の先輩に聞きました。

着席後料理が出てくるまでの時間は適度に必要なのだそうです。いわゆるファスト・フードは味が分っており、とにかく早く！です。レストランでの注文料理は思いを巡らせることで、唾液や胃液が適度に準備され、良いタイミングで出る料理は一層の美味を感じるのだそうです。贅沢を言えば、順番に出てきて、料理の説明があったらなあ・・・と思いました。

蘇州ハイアット・リージェンシー



蘇州ハイアット・リージェンシーは12階、窓から見た景色です。ベッドの設え、部屋の広

さ、快適なバスタブ、大型TV NHKチャンネル等いつもの快適さです。ただ、TV放送の精細さは今一でした。

無錫では足首が痛く朝食はテイクアウトでしたが、今朝はカフェに向いてのブッフェ朝食を楽し

みました。写真は亭主の皿です。トマトとハムのオムレツ、ベー



コン、シューマイ、その他2、3品、ビーナッツと魚フレークをトッピングした粥、オレンジジュース、それにカプチーノ 十分な美味しい朝食でした。



玄関前のパノラマ写真です。

12月12日 上海観光

無錫も蘇州もそして上海も水郷の街です。上海・朱家角も運河周辺の商店街散策です。ガイドの王サンは人が多いので、持ち物に気を付けろ！バッグは前に下げろ！と注意しました。



左は運河の観光船、上は美味しそうな焼き肉屋、買い食いの勇気が

なかったのは残念なことです。子供たちも遠足に来ていました。



高層ビルの密度が増します。マンションばかりでなく商業ビルや、ホテルが増えてきました。写真はバスの窓から撮りました。運よくブレも反射も目



立ちません。昼食を挟んで、シルク製品の店舗、ラテックス

(天然ゴムフォーム) 枕とベッドシートの店でセールスを凌ぎました。

昼食は小籠包を含む飲茶昼食の触れ込みでした。が、蒸し物は最後の小籠包だけ、それも1個/人と寂しくチョットがっかりで



したね！写真は空けた青島麦酒どの店でも30元です。アルコール4%と表示してありますが、チョット薄めではないでしょうか？



午後からは豫園周辺の豫園商域散策です。日曜日だからかトンデモナイ混みようです。

40分の散策時間の中で、美味しいと評判の小籠包屋に王サンが並んで全員にプレゼントしてくれました。昼食の不満解消、昼より美味だったと好評だったのです。



何しろ「2元/個だから安いよ！」この後外灘(浦東を望む散歩道)からの展望を楽しみ、記念写真です。



3日目の夕食はご期待の蒸した上海蟹です。これも終盤近くに出てきました。毛ガニの1/3位の大きさです。若い姉さんが捌いてくれます。コイツをチェロ



チェロと頂くわけです。ミソと肉が重なった足の根元は確かに美味しかったけど、何しろ小さいので、1杯では「良さ」が理解できないな！と思いました。(空港の土産、生が250元でした。)

上海雑技団

王サンによれば、上海と言えば「第一に雑技団」だよ！との事です。オプション代金260元（¥4,600）を支払って張り切って見に行きました。ビールの後で多少居眠りしていたので、自信がないのですが、チョット



「期待外れ」でしたね。昔、聞いたことがあります。競技は難しいことをいかに簡単に見せるか、ショーは簡単なことをいかに難しく見せるかです。このグラス持ちパ

ランスも本当の液体入りグラスではなかったようだし、自転車もコマ回しも目を見張るほどではありませんでした。最後の地球儀バイクは迫力ありました。この小さな地球儀の中を4台のバイクが走るのは壮観でした。1,000人位の劇場、半分くらいの入りだったと思います。



グランド・ハイアット上海

今回の旅の目玉グランド・ハイアットです。Regencyが摂政ならばGrandは壮大、ホ



ント見るからに壮大です。首を痛めるのでは？と思いながら撮影しました。ロビーが54階、

部屋は73階です。とりあえず荷物を部屋に

置き、ホテル前のプロムナードへ急ぎました。10時を過ぎるとイルミネーションが消えるからです。



左が上海森ビル421m、右は上海タワー632mです。

右奥はテレビ塔468mです。1994年に出来ていますが、今でもユニーク、イルミネーションの色が変化していきます。前の2人は旅で仲良くなった鈴鹿の北川さん、夫婦そろって呑んべいです。



部屋に入ってTVのスイッチを入れると、何と、我々へのコメントが写りました。Dear Mr. Kino, Mrs. kino... 歓迎のご挨拶です。感激したわけではありませんが感心しました。

内側は巨大な吹き抜け、廊下の外側が部屋です。まるで巨大な煙突の外壁に部屋がある感じです。物でも落とした大変です。左側のふくらみはエレベータ、カードキーをかざさないと動きません。



2017年11月 上海紀行

2017年11月10日～13日

朝起きて、部屋から見た上海タワーです。

何しろ近くて高いので、カメラには全く入りきらないし、目視すら出来ません。そうそ



う、カーテンの開閉はベッド横のボックスから電動制御できます。



相変わらずの快適なベッドから抜けて楽しみなブッフェ朝食、54

階のカフェで、今回はパン食にしました。

12月13日(月) 上海観光

8:00にロビーに集合、ツアー最終日です。今日の観光は魯迅公園と田子坊散策です。魯迅公園は魯迅の住処の近く、庶民の公園との事です。天気が良いので人も多いです。



このオバサンに王サンが話をして、皆で太極拳の一動作を教わりました。社交ダンスやフォークダンスのグループがあちこちにあります。



今日は月曜日、日曜日なら更に若い親子連

れなどで大混雑になるに違いありません。お茶屋さんのセールスを受けてから、上海のSOHOと呼ばれる「田子坊」散策を楽しみました。ニューヨークのソーホー歩いたことないので、そう言われても困るのですが、しゃれた店、自称前衛芸術家のたまり場、ギャラリー等が集まっているようです。



狭い路地が基盤目になって、最小の店舗は間口2m、奥行き10m位です。王サンの話では最

小でも家賃¥200,000位だそうです。

テーブルやカウンターが道路にはみ出した店も多いのです。右のテーブルはひとつの容器から3人が同時に飲める、変な道具です。大昔のアヘン窟でもモジったのでしょうか。



最後の昼食は上海料理、焼きそばに特徴があるとの事です。左は「麩料理」のようでした。他の料理店でも出ていました。

名古屋へ

浦東飛行場には2時前に到着、余裕で出国手続きを完了、17時発 J L 884 は予定通りに離陸、丸々3泊4日の豪華ホテル旅が終わりました。最後までガイドの王サンは世話を焼いてくれました。有難う王サン、さようなら 上海

おわりに

中国大躍進の10年を見るのに、この上海地区は最適だったような気がします。最新の巨大豪華ホテルに泊まり、観光地は庭園、水郷、路地、料理は地方料理、いい組み合わせでした。おまけに当方はカミサンが怪我をして、病院事情まで経験することが出来ました。不満もあったけど、コストに見合ういい旅でした。

13年前の上海 外灘から見る浦東夜景は「電力不足で見られないかもしれぬ」と言われました。ココ10年の大躍進ではバランスよいインフラ整備が出来ているか？当方の関心事でした。鉄道網、電力網、通信網、道路網 住宅建設、上下水道 何とかなっているようです。14億人 恐るべし。

以下は書き洩らした上海事情です。

上海のナンバープレート



このプレート「沪 A-76269」は売買出来るのです。何と1枚180万円の値が付いているそうです。「沪」の字は上海市の記号、混雑時間帯の上海周辺の高速道路はこのナンバー以外走行できない、いわゆる入場制限をしています。

電動バイク

都市部で内燃機関バイクは禁止だそうです。右のくたびれたリアカーは何と電動です。電



動バイクは殆ど無音なので、惰性で走っているように感じて、すぐ止まるとしてしまい危険です。交通事故も多いそうです。



シェア自転車

最新の情報によれば中国の4大発明は「高速鉄道」「アリペイ」「シェア自転車」「ネット通販」だそうです。（「アリペイ」はオンライン決済の事）何れも「発明」とは言い難いのですが大普及しているのは事実です。街のあちこちに並んでいます。スマホをかざして開錠、施錠、決済で、乗り捨てです。緑は電動アシスト自転車です。



清掃・整備

自動車道路は広いだけでなく綺麗です。セパレート部の生垣もしっかり整備されています。歩道も掃除が行き届いて、掃除夫もゴミ収集車もよく目にしました。このゴミ箱もたくさんありました。リサイクルゴミ、電池、その他と分別投棄を求めています。国をきれいに見せよう！との国家方針なのでしょう。

